

暑い夏が 好きになる家



快適で省エネ、
暑さを感じさせない
家づくり宣言。

- トイレや廊下等、
家じゅうどこにいても
涼しい家をつくりまします！
- 独自のシステムで超省エネ。
省コストを約束します！
- 調湿機能により高耐久性となり
家が長持ちします！
- 快適な湿度と温度で
いつもきれいな空気の家をつ
くりまします！



発行/こおげ建設(株)
八頭郡八頭町宮谷200番地2
TEL (0858) 72-0029 FAX (0858) 73-0668
E-mail: info@koge.co.jp
<http://www.koge.co.jp>
Boo Foo Woo
Vol. 90
2019. 7. 31Wed

人が家が健康になる
健康空気循環システム

高気密 高断熱
ファースの家

Never give up
がんばろう日本！
つなげる想い・
つながる希望



「ファースの家」の 省エネ住宅

「ファースの家」は高気密・高断熱の省エネ住宅です。
高断熱性により、外からの厚さや寒さを家に入れず、高気密性によって、室内の冷暖房の熱を外に逃がさないためエネルギーの効率良く室内温度を維持することができまます。窓ガラスの日射取得性能と、住宅の気密断熱性・蓄熱性により、パネルの要らないソーラー住宅システム認定」を交付されています。

ファースの高気密

内断熱材の「エアクララ」は、専門業者によって吹き付け施工するため、隙間なく断熱材が施工できるので、高い気密性を確保する事が出来ます。
これは、40坪の住宅で、名刺3〜5枚程度の隙間しかありません。

ファースの高断熱

「ファースの家」は外と内からのダブル断熱断熱性能の高いウレタン系の断熱材を使用しています。
外側には専用のウレタン系板状「ファースボードK」を、内側はウレタン樹脂系の「エアクララ」を屋根根から壁、基礎まで、家中を覆うように吹き付け施工します。
「エアクララ」とは「ファース」工法専用の断熱材で、大型冷蔵庫庫用の断熱材を住宅用に改良したもので、断熱材であると同時に気密材としての役割も果たします。
「エアクララ」は高い断熱性能を持っています。

ファースの断熱サッシ

住宅全体から逃げる熱量の1/3は、窓からの熱損失と言われています。
ですので、断熱性能が高いサッシを使用し、ガラスは幅広の中空層にアルゴンガスを注入して断熱性を向上させた複層ガラスを採用、窓から熱が逃げるのを防止します。
そして、寒冷地や温暖化などの地域性によって、室内にどれくらい日射を取り入れるかを検討し特殊な金属膜加工を用いて調整しております。

◆空気も大事◆

室内には、建材や家具、たばこや調理器具からの燃焼ガスなど、様々な化学物質が発生しています。
空気中の汚染物質を減らすには、効率よく必要な空気を取り入れる計画的な換気が必要となります。

しかも食事内に潜む菌などの異物は、吸収された後肝臓を通り、ある程度は解毒されますが、空気の中に存在している化学物質などは、鼻腔粘膜や肺の粘膜から直接血液や体液にとけこみ簡単に体内へ侵入してしまいます。住む人の健康を考えた時に、空気の質がいかに重要かを考えなければなりません。
「ファースの家」では床下に敷き詰められた、調湿材「ファースシリカ」が空気をきれいにし、その空気が循環する「健康空気循環システム」によって、家全体の空気が保たれています。

ファースシリカって

主な成分は二酸化ケイ素、通称「シリカゲル」と言われるもので、一般的にはお菓子や海苔などの乾燥剤として広く知られています。
ファース専用住宅のシリカゲル「ファースシリカ」は、およそ湿度が60%以上になると湿気を吸着し、湿度が40%以下になると、抱えた水分を放出します。ファースシリカには炭の7倍の吸湿力があり、脱臭効果、防蟻効果があります。
住宅内の空気をきれいにし、快適な湿度に調整します。また、ホルムアルデヒドなどの化学物質や室内の臭いも吸着します。

空気循環システム

「ファースの家」は、天井裏で換気した空気を、「ファースシリカ」を敷いた床下に送り込み調湿清浄された空気を各部屋へと循環させます。そのため家中の空間がほぼ同一の熱循環を維持し、低温部分や高温部分ができないため、内部結露も防止できます。

また、熱口スの少ない熱交換式換気で外部からの換気を行い、換気によって部屋の空気がくっ寒くなってしまう事を防ぎます。

どん太くんのちよつといい話

そこに、暑いからと言って冷たい飲食物を一気に摂取すれば、内臓が冷え、自律神経をさらに乱すことにつながります。自立神経のバランスが崩れると、頭痛や不眠、下痢、便秘、うつなどに代表される不定愁訴が現れます。夏バテも一つの症状です。
節電のために我慢しすぎるのも問題ですが、エアコンの使い過ぎにも注意が必要です。

エアコンの 使い過ぎに注意

暑い屋外から冷房の効いた室内に急に入ると、みるみるうちに体温が奪われ、皮膚が冷たくなる場合があります。
体温の調節をしているのはホルモンや自律神経ですが、汗をかかない状態で体温を下げる事が頻りに繰り返されると、当然ホルモンや自律神経は混乱し、体の恒常機能は衰えていきます。

